

(月 日) 名前 ()

次の文章を ていねいな字で 書き写しましょう。

吾輩は猫である。名前はまだ無い。どこで生れたか。と見当がつかぬ。何で薄暗いじめじめした所でニヤーニヤー泣いても薄暗いじめじめした所でニヤーニヤー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番獰悪な種族であったそうだ。この書生というのは時々我々を捕まえて煮て食うという話である。しかしその当時は何という考もなかったから別段恐ろしいとも思わなかった。ただ彼の掌に載せられてスーと持ち上げられた時何だかフワフワした感じがあったばかりである。掌の上で少し落ちて着いて書生の顔を見たのがいわゆる人間というものの見始めであろう。この時妙なものだと思つた感じが今でも残っている。



(夏目漱石 「吾輩は猫である」 より作成)